東小学校防火戸改修工事

上田市都市建設部建築課

	建築改修工事・電気設備工事
A-01	建築改修工事 特記仕様書1
A-02	建築改修工事 特記仕様書2
A-03	電気設備工事、特記仕様書
A-04	付近見取り図・工事箇所配置図
A-05	北校舎 改修箇所KEYPLAN図
A-06	北校舎 改修建具表
A-07	北校舎 SS-1/2部分解体処分図・改修平面・断面・天井伏図
A-08	北校舎 1 ~3 階 SD-1・2・SG-1 改修平面図

		r 水戸改修工事 特記仕様書	① 建築材料等	建築材料等 [1.4.2] 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。なお、JIS及びJASの表示のない材料及び製造業者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。(1)品質及び住能に関する試験データが整備されていること (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること	4. 仮設開仕切	仮設開仕切り及び仮設原の設置箇所 仮設開仕切りの種別と材質等 種 別 下 地 ・ ・ せっこう: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	仕上げ(厚さ:mm) <u>*</u> ボード (※ 9.5 ・ 図示) ・	[2.3.2] (全 装 充填材 無し ※有り 片面	① 改修範囲等	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う 当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600m 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井の撤去に再う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ① 図示
- - -		386-0014 長野県上田市材木町 1 丁目 1 0-1 3, m1 改修内容 政修内容 既存防火戸改修及び防火防煙耐熱ガラスクロス製シャッター取付		(3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部 機関が発行する資料等のワビを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、(一社)公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」に指定された材料については上記(1)~(6)に該当するものとする。 また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の 承諾を受けた材料とする。	5. 監督員事務所	充填材: ※ グラスウール32k (厚:50mm 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等	<u>上 げ 塗 装</u> ・図示 ・無し ・片面 以上)・	充填材 ※ 有り ・ 無し [2.4.1]	2. 既存床の撤去	及び ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2] ・ 下地モルタルとも(・ 図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理 補修材料 ポリマーセメントモルタル 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による・ エポキシ樹脂モルタル 品質・性能及び試験方法 ※ 31S A 6024によるほか建築材料等品質性能表による
=			① 技能士	 ※ 適用する(一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。) ・ 適用しない ○ 以下の表による他監督員の指示による 			7			・ 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修箇所の室内・
-	I 建築改修工事仕様			適用工事種目 技能検定作業	(5) (1) 一般事項			[5.1.3]	③ 既存壁の撤去。 下:	及び 間世切壁搬去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] 地補修 ※ 改修標性4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚が25mm を超える場合の補修処置 ※ 図示 ・)
	(建築工事編)(最業	書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書 版別」(以下、「改修標性」という。)による。 記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新		 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 	建具改修工	建具の種類	撤去工法 適用 建具表による ・ ・ 建具表による ・ 建具表による		④ 既存天井の撤:下:	○ 図示
	版)」(以下、「標 (2) 電気設備工事及び 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に〔 (2) 特記事項は、① ① 印と ※ 印の付 (3) 特記事項に記載の (4) 特記事項に記載の (4) 特記事項に記載の	仕」という。)、及び「建築物解体工事共通仕様審・同解説(最新版)」(以下、「解体共仕」)による。 機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様審を適用する。)印の付いたものを適用する。 印の付いたものを適用する。 合は、米印の付いたものを適用する。 1、1、1 1、1 1、1 1、1 1、1 1、1 1、1 1、1 1、1			*	(例談程量達異 ステンレス製建具 新規に建集を設ける場合 壁部分の間口の開け方 ※ 図示 新規建集周囲の補修工法及び範囲 ※ 防火戸 ・ 適用しない 見本の製作等 建具見本の製作 (行) (建具符号)	・	· ·	⑥ 軽量鉄骨天井	下地 野経等の種類 [6.6.2~4] ・屋外(※ 25 形 ・ 19 形) ・屋内(※ 19 形 ・ 25 形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した 工法 ・ 適用しない 形式及び寸法 野科受、吊りボルト及びインサートの間隔 ー般部 ・ 図示 ・
章	項 目 ① 適用基準等	特 記 事 項 ※ 建築工事標準詳細図 ■ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		ALOパネル工事 ・ エーエルシーパネル工事作業 石工事 ・ 石張り作業 植栽工事 ・ 透園工事作業		特殊な建具の仮組 ・ 行う(建具符号: 防犯建物部品) ・ 行わない 用箇所 (・ 建具表による ・) [5.1.7]		周辺部(端から) ・ 図示 ・ 野縁の間隔 ・ 図示 ・ 使用しない
一般共通事項	() 適用基準等	※ 建架工事標序時間凶	12. 施工の検査等	他式上手 ・返回 土手作来 ・ を見(手・機械)加工作業 ・ 樹脂接着剤注入工事作業 ・ カーテンエ事作業 ・ 見本施工の実施 () [1.6.5]		- 適用する () 週/ ・適用しない ① 既存建具改修工事(建具表による) 性能等級 簡易気密型 (ドアセット) ・適用する		[5. 2. 2] [5. 4. 2~5]		成件の埋込がインプート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカー 引抜き試験 ・ 行う (屋外の場合の方法:) ・ 行わない 下地の補強 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
24		※ 無果土甲塩生物目	13. 化学物質の濃度測定	測定方法		・適用しな 外部に面する建具の耐風圧性 A租 ・ B租 C租 防音ドアセット、防音サッシ (通 (建 (建	い [(建具符号: ※ 建具表による [(建具符号: ※ 建具表による [(建具符号: ※ 建具表による	.)		n ラ ホルド (villingth Journal Seal California)
-		※ 適用する ・ 適用しない [1.1.4]		計 個所 ※ 試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度指針値(厚労省指針)		断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適) (建)		カ法 ※ 図示
	 品質計画 	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による [1.2.2] ※ 風速 (V-= 30) ※ 地表面相度区分 (・I ・ Ⅱ ○ Ⅲ ・ Ⅳ) ※ 積雪区分 建告示第1455号 別表(27)		ポルル		耐震ドアセット ・ 適用する 面内 (建具符号: ※ 引 鋼板 ・ 適用しない	変形追随性の等級 () 建具表による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)	① 軽量鉄骨壁下	
- 1	④ 電気保安技術者	※適用する ・適用しない [1:3.3]	14. 技術検査	技術検査(中期技術検査)の実施回数及び実施する段階 [1.7.2] ・請負金額5000万円以上の中間検査・部分使用の中間検査・・不可視部分の中間検査			※ Y08 ※ 以修	厚 さ		※ 國示 ・
	6.) 発生材の処理等	施工順序、工事車両の駐車場所、資機材の保管場所、その他 [1.3.5] ※ 現場説明書による ・ 図示	15. 完成図等	※ 作成する [1.8.1~1.8.3]※ 完成図 (※ 設計図書で示したもの全で ・ 改修標仕表1.8.1による ・ 監督員の指示による)作成方法 ※ 製本 (※ 見開きA3縮小版 3部 (黒表紙金文字製本) ① 監督員の指示による)		アルミニウム合金めっき鋼板) 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の 鋼板厚み ※ 図示)有効開口幅が950mm又は有効高さが2,	400mmを超える場合		
	① 施工数量調査	また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 調査範囲及び調査方法 ※ 図示 [1.5.2]		(※ 見開きA1版 1部(ビニール製本) ※ CADデータ (※ CD-R (2部) ※ 保全に関する資料 (2部)	① 建具用金物	品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等。 金物の種類及び見え掛り部の材質 ※ 改付	 修標仕表5.7.1による ・	[5. 7. 1, 2]		
ļ	◎ 環境への配慮	版件部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 図示 (1.6.5) 化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(6)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板結層材、MDF、パーティクルボード、その他の大質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジーの・ブチル及びフタル酸ジーク・エチルへキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を	16. 完成写真	下記のものを監管職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影 筋筋 数 写真のサイズ(mn) ※カラー写真(機本) 外的()) *1・ ※キャビネ版 ・サービス版 ・パネル(木製枠) 外部()) ※1・ 240×360以上 ** ※電子データ 外部()) ※2・ ※ 428万囲素以上 ** ※350dpi以上 第50dpi以上 ** ** ** 電子データは、フィルムスキャンのうえRGBを8ピット(フルカラー)、JPEG形式最高画質(100%)画質)とし、CO-Rにて提出とする。 ** ** # **	. 建具用図示の他、建具改作 に必要な金物を含む。	・樹脂製建具に使用する丁番 ※ 改は 選り玉、レバーハンドル、押板類、クレセ・ ・錠前類 シリンダーサイド ※ 外側シリンダー、 実用性能項目 (JIS A 1541-1及びJIS A 1 耐じん性能 グレード1 ○・ デッドボルトの出す法 ○ グレード、 その他の性能項目はグレード3とする。 マスターキー、コンストラクションキ・ とのサーチ類	ントの取付位置 建具表による 、内側サムターン 建具表による 1541-2による) グレード2 3 (17mm)以上 また健による施錠が可能なものはマス 一などのキーシステムが構築できるも 等品質性能表による	スターキー、グランド のとする。		
		使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないが、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて	17. 設備工事との取合い 18. 設計GL	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 ※ 図示 ・ 設計6L-現状0L ・ 監督員の指示による		ディレードアクション(遅延閉)機能 ・ 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料 ⁵ キーシステムの種類、構成 ・ 錠製作時(等品質性能表による に監督員より指示する	[5.7.4]		
		少ないものとする。 (5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。	② ① 足場その他	足場を設ける場合、「改修標仕」2.2.1(b)によるほか、設置においては、「手すり先行方法による [2.2.1] 足場の組立て等に関する基準」における2の(2)「手すり据置方式」、又は(3)「手すり先行専用足場方式」に		マスターキー ・製作する ・製作 鍵の引き渡し ※ 錠1に対し対応する鍵3本を1組とし、3 ・錠1に対し対応する鍵3本を1組とし、3	室名札を付け、直接引き渡す			
		(6) 建築材料等は、クロルビリホスを飛分として含有せず、施工においても添加しないものとする。なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が完全水☆☆のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 ■ 規 制 対 象 外 ① 財政び486の F☆☆☆☆機格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるが3規格品 ■ オーカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設工事	より行うこと。 内部足場 (※)脚立、足場板等 ・ ローリング足場 ・ 外部足場 ・ 設置する ・ 設置しない ・ 脚立による 防護シート等の垂直養生 ・ 防炎シート ・ メッシュシート 材料、撒太林等の運搬方法 [表 2.2.1] 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 「確:利用可能なエレベーター ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ D種:利用可能な財産の関係・ 図示 ・ 現場説明書による ・	10. 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強 ・外壁用防火シャッター 耐風圧強 ・屋内用防灰シャッター 関係低で対 ・屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 ※ 上部電勤式(手動	耐風圧強度) N/m ² 度() N/m ²	[5. 10. 2, 3]		
		a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着利等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ■ 第 三 種 ① JIS及びJMSO F☆☆☆規格品 ② 建築基準法能行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③ 旧JISOEの規格品	② 既存部分の養生3. 騒音・粉塵等の対	養生方法 既存部分 ② ビニルシート、合植等 既存す果 ・ 設備等 ※ ビニルシート等(監督職員の承諾)・ 既存す果 ・ 設備等 ※ ビニルシート等(監督職員の承諾)・ 既在プランド、カーテン等の処置 ・ 養生 (・・ビニルシート等) ・ 施工中取外し保管、工事後復旧 保管場所 (図示) 固定側点、机 ロッカー等の移動 ・ 図示 蒙 経音・粉塵等の対策 (2.2.1)	① 耐熱ガラスクロスシャッター	○ 防火 ○ 防煙	込めっき鋼板) 東亜鉛めっき鋼板)			
	9. 特別な材料の工法	④ IBJASのFco規格品 改修標仕及び、標性に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	- 「 「	職 店・が原金のの場 (とこ) (とこ) ※ 防音がネル ・ 防音シート ・ 養生シート 設置範囲及び高さ ※ 図示 ・		⊙ 図示⊙ 使用メーカーの仕様による。				
			<u> </u>	事業年度	<u> </u>	<u> </u>	事 業 名	東小学校「	_ <u></u>	
	225	上田市都市建設部建築課		R-04			図 名	建築改修工事	特記什様書	1 No Scale A-01

内(③ せっこうボード	[6.13.2~3]	① ① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]	2.	再資源化等	<u> </u>	M	① 工事現場の環境	エ事現場のイメージアップ
装改	その他のボード張り	211.	塗	% F☆☆☆ ·			建設廃棄物の種類 中間処理施設、再資源化施設等 ・ コンクリート ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による	٠ ٢	改善について	仮囲い周辺の美化
修工		程 類 厚さ(㎜)・規格等	装	・防火材料 ※ 図示 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 :)			・ コンクリート及び鉄からなる建設資材	他		地域住民への情報提供 ・ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成
∌		・硬質木毛セメント板 HW ・15 ・20 ・25 ・図示・ ・中質木毛セメント板 MW ・15 ・20 ・25 ・図示・		種別 [7.1.4][7.2.2~7]			(PC板、コンクリート平板、 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ※ こうリートニ次製品)			地域住民とのコミュニケーション
き)		・普通木毛セメント板 NW ・15 ・20 ・25 ・図示・ ・硬質木片セメント板 HF ・12 ・15 ・18 ・21 ・図示・	7	下地調整の種別 下地面の種類 塗替え 新規 ひび割れ部の補修			・木材 ※ 監督員の承諾する施設 現場説明書による ・木材(縮減) ※ 監督員の承諾する施設 現場説明書による			・ 現場見学会の開催 ・ 住民に対する災害防止関係
		- 普通木片セメント板 NF ・ 30 ・ 図示 ・		木部 ※ RB種・・・RA種・RB種・・			・ アスファルトコンクリート ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による			・ 現場出入口周辺への誘導員の配備
		① けい酸カルシウム板0.8FK タイプ 2(無石綿)1.0FK ・6 ・8 ② 図示・		鉄鋼面 ※ RB種・ RA種 亜鉛めっき面 ※ RB種・ RA種			・金属類 ※ 監督員の承諾する施設 ・現場説明書による ・小形二次電池 ※ 監督員の承諾する施設 ・現場説明書による		不具合の確認	工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月(新営に限る)に不具合の確認を行い、その結果を書面で上田市長あてに
		タイプ 2(無石綿)		亜鉛めっき面(鋼製建具) ※ RB種 ・ RC種 —			・ 蛍光ランプ、HIDランプ ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による			報告する。 (施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。)
		0.8FK ・ 8 ・ 図示 ・ 化粧けい酸カルシウム板		モルタル、ブラスター面 ※ RB種 ・ RA種 ・ RB種 ・ 行う ・ 行わない			・硬質塩化ビニル管、継手 ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による ・ 石膏ボード ※ 監督員の承諾する施設 ・ 現場説明書による			
		1.UFK ・ UV塗装 ・ シート張り ・ 化粧単板		コンクリート面(DP以外)、 ※ RR輝・ RA輝 ・ 行う			※ 監督員の承諾する施設 現場説明書による		③ 産業廃棄物等の 取扱い	(1) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為)する ときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という)に基づき、適正に行う
		<u>・ 一般塗装 ・</u> - ・ フレキシブル板 F ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・		ALG/\不ル面	10.0 1	77 47 1	W マスペス A+1944のませ回す	1		こと。
		スレート ボード ・ 軟質プレキシブル板 NF ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 図示・ ・ 平板 S ・ 6 ・ 図示・		- RA種 · RB種 · 行わない	10-6 1. 7	アスペスト 含有分析調査	※ アスベスト含有建材の事前調査 (6.1.3) 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、			(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得して いる者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可
		- Land 1 - Land 2 -		せっこうボード面及び ** RB種・ RB種・ RB種 - RB種・ RB種・ RB種・ RB種・ RB種 - RB種・ RB種・ RB種・ RB種・ RB種・ RB種・ RB種・ RB種・	\ \hat{\zeta}		建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示			証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出 すること。
		・ロックウール化粧吸音板 DR (・12 (不燃) ・15 ・19 ・図示 ・) ・フラットタイプ		塗替え昭種の場合の既存塗膜の除去範囲			貸与資料 ((3) しゅんエした時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真、マニフェスト
		(・9(不燃)・12・図示・)		※ 塗替え面積の30% · 図示 ·	有		・ 分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象			A票、B2票、D票並びにE票の写しを添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出すること。
		・ ロックウール吸音ボード1号 RWH-B ・ 25 ・ 図示 ・ ・ グラスウール吸音ボード号32K GWH-B ・ 25 (ガラスクロス包) ・ 図示 ・	4. 塗装	[7. 1. 4] [7. 4. 1~7. 15. 2]	材の		アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト		④ 環境対策関係	(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
		① せっこうボード GB-R ・ 9.5 (準不燃)※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) 図示		工程 ***	去		分析方法 ・ JIS A 1481-2 (建材製品中のアスペスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスペスト含有の			(2) 夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬 ルートの選定に当たっては影響の少ない最短ルートを選定すること。
		・ 不燃結局はつこうボード GR-MC 9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用)		・ 会成財能調金ペイント途 は 本部屋外 ※ B種 ・ ※ A種 ・	"		含有の有無を判定するための定性分析方法) ・ JIS A 1481-3 (建材製品中のアスペスト含有率測定方法-第3部:アスペスト含有率のX線回折			(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。 (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。
		・ 化粧有 (トラバーチン模様) ・ シージングせっこうボード GB-S ・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃) ・ 図示		(SOP)			定量分析方法)			
		○ 24 // 1 - 3 / 5 / 1		型料の権別 ※ 1種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					⑤ 過積載の禁止	(1) 工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても 遵守すること。
		Ubt+ ○21 (不燃) ・ 図示 ・せっこうラスボード GB-L 9.5		***・			・箇所数() ・箇所数() ・箇所数() ・箇所数()			① 積載重量制限を超過しての建設発生土の処理、及び資機材(以下「資機材等」という)の積載重量の
		・化粧せっこうボード GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 (木目) 模様 (・柾目 ・板目)専用下地材有り		・ フタル酸樹脂エナメル塗り(FE) — ・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種			・ 箇所数() ・ 箇所数()			厳重チェックを行うこと。 ② 過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
		・ 化粧せっこうボード GB-D ・ 9.5 (進不恢) ・ 12.5 (不恢) ・ 図示 ・		鉄鋼面 上塗り等級()級 ・ A種			サンブル数 1箇所あたり3サンブル 採取箇所 図示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			③ 過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
		(トラパーチン模様) 表面の材種		亜鉛めっき銅面 ・耐候性塗料塗り(DP) 上塗り等級()級 A種		アスベスト		-		④ 資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輌、及び不表示車等を使用
		生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・ 図示 ・)		コンクリート面及び 押出成形セメント板面		アスペスト けん濃度測定	测定名称 测定陆期 测定提所 測定点 儘 多			しないこと。 また、同車輌からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
		不透明塗料塗り		- つわ有合成材能 コンクリート面等 ※ B種 · ※ B種 · ※ A種			・測定 1 MECTON (AREA SERVICE SER			⑤ 下請事業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または 車輌を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
		・普通合板 (※ しな程度 ・ 図示 ・) 板面の品質 (・ 図示 ・)		エマルションペイント 屋内の鉄鋼面 ※ B種 ・			・測定 2 処理作業前 施工区画周辺又は 敷地境界 計 点 -			⑥ 飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
		厚さ(mm) (・図示・) 接着の程度・1類・2類		塗り(EP-G)						⑦ 土砂等の運搬に関する事業者の選定に当っては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の 防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に
		· 防虫処理 · 難燃処理		・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T) ※ B種 ・ ※ B種 ・ A種			・ 測定 4 セキュリティー 各 点 空気の流れを確認 ゾーン入口			努めること。 (2) 以上の点について、下請事業者についてもこれに準じ徹底すること。
		樹種名 (・図示・) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ※ B種 ・ A種 ※ B			処理作業中			
		・大然不化粧合板 厚さ(mm) (・図示 ・)		・オイルステイン塗り(OS)ー ー			・ 測定 5 装置の排出口 各 点 除じん装置の性能確認 (処理作業室外の場合)		⑥ 安全対策関係	(1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全 教育、研修及び訓練を行うこと。
		・防虫処理 難燃処理 化粧加工の方法		<u>・木材保護塗料塗り(IPP)</u> ※ B種 ・ A種 ※ B種 ・ A種 EP-G(コンクリート面、モルタル面、ブラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)塗替えの			・ 測定 6 施工区画周辺又は 計 点 - 敷地境界			(2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回、4時間以上実施し、工事日誌へ記録する ほか、実施結果、実施状況の写真、安全教育に使用した資料等も整理すること。
		(・オーバーレイ ・ ブリント ・ 塗装) 表面性能 ()タイプ		場合のしみ止め			 測定 7 加理作業室内 各点 			(3) 原則として代理人(主任)以外の第三者により、月1回以上店社による安全パトロールを行い、工事
		・ 特殊加工化程合板 接着の程度 (・1類・2類)		※ 改修標仕表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする ・ EP塗替えの場合のしみ止め			・ 測定 8 (シート養生中) 施工区画周辺又は 計 点 - 数地境界			日誌へ記載するほか、点検内容等を別書面に記録し、実施状況の写真を撮影すること。 (4) 下請業者にKY(危険予知)、TBM(作業内容の打合せ)活動等を実施させ、その記録を整備すると
		厚さ (mm) () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理		※ 改修標仕表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする・			・ 測定 9 処理作業後シート 処理作業室内 各 点 -			ともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。
		・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による (※ 1.2 ・) ・ポリエステル樹脂化粧板		・ 高日射反射塗料塗り 下地調整(改修標仕表7.2.2) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種			・ 測定 10 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 計 点 -			(5) 下請業者を含め、作業員に対し現場内容に即した新規入場者教育、安全教育・訓練等を実施し、関連 書類及び使用した資料等を整理するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。
		・ ミディアムデンシティ MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 図示 ・		工程 塗り回数 塗料その他 塗付け量			測点位置 ※ 図示・ アスペスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第1部:光学顕微鏡法及び			(6) 上記の(2)~(5)の活動については、記録・書類及び写真を整備したものをしゅん工書類として提出 すること。但し、新規入場者教育等で深く個人情報に関わるものについては、工事検査時に別途記録を
		ファイハーホート ・ 無研庭板 VN ・ 研庭板 VS		規格备号 規格名称 佳類 寺椒 (Kg/m)			走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。			確認するものとし、提出は不要とする。
		・ 単板張りハーティグルホート ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・		上塗り - 製造所 JIS K 5675 高日射反射率 1種 - 2級 塗料製造所の仕様による			測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 アスペスト粉じん濃度測定方法		① 火災保険等	
		・ 単板オーバーレイ DV ・ 化粧パーティクルボード ・ ブラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC		仕様による 塗料 *1± ・3級			測定1.2.4.6. 測定3 7.8.9.10 測定5			① 保険の種別 建設工事保険(請負業者損害賠償責任担保特約付き)又は火災保険及び請負業者賠償 責任保険とする。
		・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・ 図示 ・ ・ 未研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RN	9 1. アスベスト含有	施工調査 ※ 10章 解体工事「10-6アスペスト含有建材の除去等」による [9.1.1, 3]			計数機器 位相差顕微鏡			② 保険の目的物 工事目的物及び工事材料とする。
		・ ハートホート (素地) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RS	環 建材処理に伴う 調査、測定	アスベスト粉じん濃度測定 ※ 10章 解体工事「10-6アスベスト含有建材の除去等」による			メンブレンフィルタの直径 25 mm 47 mm 試料の吸引流量 1 L/min 5 L/min 10 L/min			③ 保険期間 エ事着工の日から工事目的物の引渡し日の14日後までとする。 ④ 保険金額 請負代金に相当する金額以上とする。
		- ハードボード(化粧) IB ・内装用 DI ・外装用 DE - 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・図示 ・	Ê	M +			試料の吸引時間 5 min 120 min 240 min			(2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その費用は請負者の負担とする。
		・インシュレーションボード A級 (・天井仕上 ・ 内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18 ・図示 ・	型 2. アスベスト修 含有建材の処理	除去工法による処理 ※ 10章 解体工事「10-6アスペスト含有建材の除去等」による [9.1.3~5] 除去工法を取れない箇所の飛散防止処理			試料の透明化 アセトン-トリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法 計数条件 総アスベスト繊維数200本 又は視野数50視野		① 工事実績情報の	(1) 工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。
		. 9 · 12 · 10 · 124/t	事	対象箇所 ※ 図示 エ法 封じ込め工法 ・ 囲い込み工法			計数アスペスト (f: 繊維本数) 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上 50 f/L 0.5 f/L 0.3 f/L		登録について	(ただし、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録する ものとする。)
		せっこうボード等の下地は図示による。		工法の詳細 ※ 図示・			報告書の作成(記録する項目)			(2) 登録する場合は、あらかじめ監督員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター
	その他のボード張り (続き)	遊音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ・ 適用しない		養生材等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化			ア、測定結果 イ、測定時間			(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
		合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外		処分方法 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設) 養生材等: 隔離・養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣・靴カバー、防塵マスクフィルタ、			ウ、測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ、サンブリング条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)			① 工事受注時 契約締結後10日以内 ② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内
		合板類の張付け ※ B種 ・ A種		高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等を対象とする			オ、マウンティング方法			③ 工事完成時 工事完成後10日以内
		せっこうボードの目地工法 目地工法の種類 せっこうボードのエッジの種類	<u> </u>	建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示・			カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時(各測定場所ごと)天候、温度、湿度、外気の風速及び風向		⑤ 工事検査	施工途中において工事検査担当職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施する
		・維目処理工法 テーパーエッジ ・ 突付け工法 ・ ベベルエッジ ・ スクェアエッジ	① ② ① 事前措置	機械設備及び電気設備の切替・遮断等 (3.2.1) 請負者が同工事の許可業者でない場合は、監督職員と協議の上、同工事の許可を取得している業者に	2	アスベスト	除去範囲 ※ 図示 ・ (6.3.2, 3)	1		ことがあるので、検査に協力すること。
		・ 目透し工法 ・ ペペルエッジ ・ スクエアエッジ	解解解体体体	委託する。		含有吹付け材	工法の詳細 ※ 解体共仕6.3.2による他、部位・内容に応じた工法は専門工事業者の仕様とする。		⑩ 被害届等	暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
		· 耐火壁端部処理	事	油類タンク 解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き		の除去	飛散防止 ※ 密封処理 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、		① 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。
				取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 空調機器等の冷媒			粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ※ 湿潤化 ・ セメント固化		(2) 提出物	上記による他、監督員の指示による。
				・ 冷媒を屋外機にポンプダウンした後撤去を行う機器は下記による。			処分・埋立処分(管理型最終処分場)・中間処理(溶融施設)		TO DECEMBE	上記しているに、至日大ツは小にのもの
				図面番号 記号		アスベスト 含有保温材等	除去範囲 ※ 図示			
						の除去	除去範囲 ③ 図示 · (6.5.3)			
						含有成形板	処分			
				図面番号 記号		の除去	アスペスト含有せっこうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) アスペスト含有せっこうボードを除くアスペスト含有成形板			
							・埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設) 除去の部位・内容に応じた工法は専門工事業者の仕様とする。			
1							除去の部位・内容に応した上法は専門上事業者の仕様とする。 ○ アスペスト混有レベル3(非飛散)			
				浄化槽、排水槽等 解体に先立ち、汚水及び汚物は、回収、洗浄、消毒等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への						
				汚染を防止する。						
			10分 ① 一般事項	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。						
			建設	総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を						
			廃 棄 物	行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了 時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出するものとする。						
			処理							2018. 01改訂
			•	事業年度	•		事 業 名 東小学校	防		
	275	上田市都市建設部建築課		R-04					寺記仕様書 2	N 0 1 1 4 00 1
							日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	- a*		

	項目	特	特 記 事 項	項目	特	記 事 項		5. 接地極 下表による ただ!	これによりがたい場合は監督員との協議による。	
東小学校 防火戸改修工事 電気設備工事 特記仕様書	③ 化学物質を発散する 建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料 (1)から(5)を満たすものとする。	料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ク	の ② 防火区画等の貫通処理	電線等が防火区画又は防火上主要な間 撮影し、工事写真として提出する。	要な間仕切りを貫通する場合、その施工状況について貫通個所の両面から写真				
	建	(1) 合板、木質系フローリング、構	構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その	② 電線・ケーブル	(1) EM-EEFは紫外線による劣化を抑止・	する性能を持たせ、「タイシガイセン EM-EEF	「」と表記されたものを		リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設標(黄銅製又はス- 銅板 1.5t×600×600 補助接地棒(連結式10φ×1,500)	テンレス製)
I 工事概要		他の木質建材、ユリア樹脂板、 極めて少ないものとする。	、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が		使用する (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格による			・B種接地	リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設標(黄銅製又はス-	テンレス製)
1. エ事場所 386-0014 長野県上田市材木町1丁目10-13		(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホル する。	ルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないもの			を用いたものを使用する 予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1:	本 5個以上の場合は	・C種接地	銅板 1.5t×300×300 補助接地棒(連結式10φ×1,500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 1.5m 埋設標(黄銅製又はス・	テンレス製)
	-	(3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル 3	及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使	用	(25)を2本、天井まで立上げる。		77.00	· D種接地	接地棒(10 φ × 1、500) リード端子付 打ち込み式 埋設標(黄銅製又はス・	テンレス製)
2. 建物概要	-	ものとする。	エン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少なし	24. 金属製電線管の塗装	長さIm以上の人線しない電線管には、 下記の露出配管は塗装を行う。	I.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。				
建物名称 改修内容 (2012年) (201		(4) 塗料はホルムアルデヒド、トル ものとする。	ルエン、キシレン、エチルペンゼンを放散しないか、放散が極めて少な	い 25. 埋め戻し土	・屋外・屋内(機械室 ・A種[山砂の類:水締め、機器による) 締固め]		6. その他		
北校舎及び管理棟 既存防火戸改修及び防火防煙耐熱ガラスクロス製シャッター取付の伴う電気設備工事			料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、 いか、放散が極めて少ないものとする。		※ B種 [根切り土の中の良質土: 機器に ・ C種 [他現場の建設発生土の中の良質			① 工事現場の環境 改善について	エ事現場のイメージアップ ・ 仮囲い周辺の美化	
	-	なお、ホルムアルデヒドを放散しない	いものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が		・ D種 [再生コンクリート砂: 水締め、	機器による締固め]		Walcovic	地域住民への情報提供	
			種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 は、第三種のものを使用するものとする。	26. 建設発生土の処理	* 管の下部は50mm以上砂を敷きならし。 ※ 場外搬出処理 ・ 構内の指定:	、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める 場所に敷き均し			・完成予想図の設置 ・情報掲示板の設置 ・パンフ 地域住民とのコミュニケーション	レットの作成
	- -	また、「ホルムアルデヒドの放散量」		27. ケーブル埋設標 	(1) 地中線路上には、次の材料による (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋	ケーブル埋設票を設ける。 · 鉄製 · 設標識シートを敷設する。	コンクリート製		・ 現場見学会の開催 住民に対する災害防止関係	
3. 工事種目	-	ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料)JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品	— (8) プルボックス	(3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は	、地中線埋設標識シートは2本以上敷設する。 ふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。		② 不具合の確認	・ 現場出入口周辺への誘導員の配備 工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月(新営に限る)に不具合の確認を	行い その結里を書面で上田市長
(O印のついたものを適用する。))建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品)下記表示のあるJAS規格品		(2) 露出するプルボックスのふたの止	めねじは化粧ビスとする。		C THE LOWER	あてに報告する。	
工事種目 項目 建物別及び屋外 状效会及び管理機			a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用	フラッシュプレート30. プレートの用途表示	図面に特記あるもの及び特殊なものを プルボックス、ジョイントボックス及	味さ ・	示した略標をつける。	企業廃棄物等の	(施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の3 (1) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理(分別、保管、	収集、運搬及び処分の一連の
電灯 設備			c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させな	、 31. 配線器具	タンブラスイッチは連用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として	· ・連用形とする。ただし、2口の場合は複式を、	、また(2P15A)以外は	取扱い	行為)するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(基づき、適正に行うこと。	以下「廃棄物処理法」という)に
動 力 設 備 電 熱 設 備 幹線、分岐			材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	32. 機器への接続	すべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等・				(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理 取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物	
雷保護設備幹線分岐 受変電設備			e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させな 塗料使用	33. 照度測定	測定場所: 各室(測定箇所数	箇所)・廊下 ・階段			処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案	
電力 貯蔵 設備 静止形電源設備 直流電源装置	_		f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させな 塗料等使用	,		教室: 個所、 測定黒板面: 個所)			書」を監督員に提出すること。 (3) しゅんエした時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み	
野エル 电) JIS及びJASの F☆☆☆規格品	—		面9か所、黒板垂直面9か所で測定する 結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を			マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の写しを添付した「M 提出すること。	R棄物等処理報告書」を監督員に
構內情報通信網設備 LAM用配管	_	第二性 3)建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品)旧JISのEO規格品	35. グリーン購入の推進	(2) 端子盤には、線番表・結線表を備 長野県グリーン購入推進方針に基づく	え付ける。		④ 環境対策関係	(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策 (2) 夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を	
構 内 交 換 設 備 電話設備 情 報 表 示 設 備 時計設備)旧JASのF〇〇規格品		〈資材〉 ・ 照明制御システム	変圧器・)		なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ない最短ルー	トを選定すること。
映像·音響設備 拡 声 設 備	— <u>.</u>	※ 現場説明書による •		36. 他工事又は他工種との		機器 ・低騒音型建設機器 だしこれにより難い場合は監督職員と協議す	 გ.		(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元 (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。	
誘導支援設備 インターホン・トイレ呼出し設備	⑤ 電気保安技術者 ⑥ 電気工事士		、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。 いても、第一種電気工事士により施工を行う。	取り合い				⑤ 過積載の禁止	(1) 工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的 おいても遵守すること。	に記載するとともに、施工時に
テレビ共同受信設備 監 視 カ メ ラ 設 備	実施工程表及び 施工計画書	(1) 実施工程表、総合施工計画書は、	、工事着手に先立ち速やかに提出する。 事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を	 3. ハンドホール 下表による。(様子	² は各ハンドホールに設置する。蓋取外	L.用ジャッキを1組納λする \			① 積載重量制限を超過しての建設発生土の処理、及び資機 重量の厳重チェックを行うこと。	才(以下「資機材等」という)の積載
駐車場管制設備 防犯・入退室管理設備 予備配管	— [受けること。		ブロックハンド7	ヤール (寸法は内法を示す。底部とはハン	ドホール内側底部をいう)			② 過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入!	
自動火災報知設備 ① · · · · · · · · · · · · · · · ·	8 使用材料発注先調書 9 発生材の処理	使用材料名、製造業者名、発注先 (1) 引渡しを要するもの・無	先等を記載した調書を作成し提出する。 無・有())		相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤によ 様は国土交通省仕様に準ずるものとする。	り接着する。			③ 過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、 ことのないようにすること。	州人業者の利益を小当に書する
非 常 警 報 設 備 非常放送装置		(2) 引渡しを要するもの以外 ・ 構 (3) 特別管理産業廃棄物 ・ 無	構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 無		·にノックアウト部分を設けてはならない。 :、原則として根巻きコンクリート(F=18N/mr	n以上)とし、差し筋D10タテヨコ@200で補強す	-a.		④ 資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の3 等を使用しないこと。	下正改造した車輌、及び不表示車
ガス漏れ警報設備 中央監視制御設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		 有 (4) 再利用又は再資源化を図るもの 	有(PCB使用機器:関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す)		いては、あらかじめ監督員にハンドホール	製作図を提出して承諾を受けて施工する。			また、同車輌からの資機材等の引き渡しを受けないこと。 ⑤ 下請事業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、	
構 内 配 電 線 路	_	・無 ・ 有(・ 廃蛍光管		・ ハンドホール No.	- 1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマークス				または車輌を使用した業務等において悪質かつ重大な事	女を発生させた者を排除すること。
構 内 通 信 線 路		※ 設けない ・ 設ける (規模:	・ 本属 (9 ・ ダン ホール類)	・ ハンドホール No.	- 1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマークス				⑥ 飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処f ⑦ 土砂等の運搬に関する事業者の選定に当っては、「土砂	身を運搬する大型自動車による交通
昇 降 機 設 備	 11. 工事用仮設物	・ 備品 (すべて請負者の負担とする。)	・ ハンドホール No.	1 000 x 1 000 x 1 400D	底部 GL-1,600以上			事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法 構成員の雇用に努めること。	第12条の規定に基づき届け出た団体
4. 図面目録 ・ 別紙参照 ・ 下記の通り	12. 足場・さん橋類	構内に作ることが ・ できる ・ 別契約の関係請負者が定置したもの		・ ハンドホール No.	1,000×1,000×1,100D	底部 GL-1,300以上		6 安全対策関係	(2) 以上の点について、下請事業者についてもこれに準じ徹底す (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとと	
番号 図 面 名 称 番号 図 面 名 称]	・ 本工事で設置する。	・移動式足場 ・移動式室内足場 ・)	・ ハンドホール No.	童 WPM-BUA (Eマークス 1 000×1 000× 900D				安全教育、研修及び訓練を行うこと。 (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回、	
1 11 12		・ 外部足場			童 WPM-DUA (Eマーク)				するほか、実施結果、実施状況の写真、安全教育に使用した	資料等も整理すること。
3 13 14		・ C種[仮設ゴンドラを使用する		・ ハンドホール No.	蓋 WPM-60A (Eマーク人 900× 900× 900D				(3) 原則として代理人(主任)以外の第三者により、月1回以上が 工事日誌へ記載するほか、点検内容等を別書面に記録し、実	施状況の写真を撮影すること。
5 15	- 13. 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費 負担とする。	費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、請負者	の ・ ハンドホール No.	蓋 WPM-60A (Eマーク入				(4) 下請業者にKY(危険予知)、TBM(作業内容の打合せ)活動 ⁶ するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。	等を実施させ、その記録を整備
6 16 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	14. 工事写真 15. 完成図等	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成 ※ 完成図 (※ 弥計図書で示したもの	成を行い、監督職員へ提出すること。 の全て ・ 標仕表1.7.1による ・ 監督員の指示による)	・ ハンドホール No.	蓋 MPM-bUA (Eマーク人				(5) 下請業者を含め、作業員に対し現場内容に即した新規入場者 関連書類及び使用した資料等を整理するとともに、随時、実	
8 18 19 19	10. July 14	作成方法 ※ 製本 / ※	: 見開きA3縮小版 3部 (黒表紙金文字製本)	・ ハンドホール No.	- 450× 450× 680D 蓋 WPM-45B (Eマークス	※ 植栽帯等車両の通行の恐れがない 収容ケーブルが少ない場所に限。			(6) 上記の(2)~(5)の活動については、記録・書類及び写真を整	備したものをしゅん工書類として
10 20		※ CADデータ (`※	・見開きA1版 1部 (ビニール製本)・CD-R (2部)・)	・ ハンドホール No.	- × × D 基 (Eマーク)	.)			提出すること。但し、新規入場者教育等で深く個人情報に関 別途記録を確認するものとし、提出は不要とする。	
II 工事仕様 1. 共 通 仕 様	16. しゅん工時提出物	※ 保全に関する資料(2部) ※ 監督員の指示による		・ ハンドホール No.	_ x x D			/ 火災保険等	(1) 上田市工事請負契約約款第51条第1項の規定により、次の保閣① 保険の種別建設工事保険(請負業者損害賠償責任担任	
(1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事経 (最新年度版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、	17. 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない	帰及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 い場合は、監督職員に報告する。	(4) 機器取付高	蓋 (Eマーク入	J			業者賠償責任保険とする。 ② 保険の目的物 工事目的物及び工事材料とする。	
「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準図」という。 による。	18. 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設	設計・施工指針2014年版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行	図面に特記なきもの	は下表を標準とする。但し下表によりがた	い場合には監督員との協議による。			③ 保険期間 工事着工の日から工事目的物の引渡し日	の14日後までとする。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。		する。	S、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるもの	名 称 出 別 用 計 器		名 称 測点 壁掛形親時計 床上~中心	取付高(mm) 1,500	0	④ 保険金額 請負代金に相当する金額以上とする。 (2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その費	
 特記仕様 特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。 		(1) 設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準力		引 込 開 閉 器通 警 報 盤	床上~上端 1,800	時 計 · 子 時 計 //	(上端1,900以下) (天井高)×0.9	⑧ 工事実績情報の 登録について	(1) 工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報 (ただし、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事)	
(1) 項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。(2) 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。		なお、特記なき場合、設計用標準 設計用標準水平地震度	準水平地震度は次による。	分 電 盤		拡 壁掛形スピーカー	(天井高) × 0. 9 1. 300		登録するものとする。) (2)登録する場合は、あらかじめ監督員の確認を受け、次に示す	期間内に(財)日本建設情報総合
			機器種別 特定の施設 一般の施設	タンブラスイッチ	" 1,300	表 示 盤 床上~中心	(天井高) × 0.9		センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録された 提出する。	ことを証明する資料を監督員に
項目特記事項			重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 2.0 1.5 1.5 1.0	一 コンセント(一般)	" 1,100 " 300	壁付発信器 "表" "表" "	1,300 (天井高)×0.9		なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更 ① 工事受注時 契約締結後10日以内	時の提出を省略できるものとする。
① 機材等 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。			5振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 水槽類(※1) 2.0 1.5 1.5 1.0	電	" 150 " 500	ブ ザ ー " _ 押 ボ タ ン "	(天井高) × 0.9 1,300		② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内	
ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ② 機材の品質・性能証明 下表に示す材料・機材等(〇印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、こ			機器 1.5 1.0 1.0 0.6 5振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0	- 灯 ブラケット(一般)	台上~中心 150 床上~中心 2,100	示 (身障者用押釦) " 身障者用表示灯 "	900 2, 000	① 工事検査	③ 工事完成時 工事完成後10日以内 施工途中において工事検査担当職員または、発注機関の長の指定	する職員による抜打ち検査を実施
証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員 承諾を受ける。)		水槽類(※1) 1.5 1.0 1.0 0.6 機器 1.0 0.6 0.4		" 2,500 鏡端~中心 150	復帰ボタン " 壁付インターホン 床上~中心	1, 800	→ 被害届等	することがあるので、検査に協力すること。 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を	
材料・機材名 材料・機材名	_		5振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6	— 避難口誘導灯	床上~下端 1,500以上	イ " (身障者用) "	1, 100	① 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移	 譲する。
- LED照明器具 - 電気錠 	_		水槽類(※1) 1.5 1.0 1.0 0.6 fを含む。	廊下通路誘導灯壁掛形制御盤	床上~中心 1,500	タ 壁付位置ボックス ・				
・ (社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設	_	◎ 重要機器の定義は次による。	0	動 手 元 開 閉 器 カ 操作スイッチ・	" (上端1,900以下) (1,300	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	300 150			
機材	_		火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・	押ボタン 室内端子盤	床上~下端 300	テレ 機器収容箱 床上~中心	(天井高)×0.9			
 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 			7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、	(廊下・室内)中間端子盤		ビ アウトレット 井 " (一般) "	300			
3) 安定的な供給が可能であること。4) 法冷等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。		13階以上の場合は上層4階と (2) 設計用鉛直地震力	とする。	(EPS・電気室)		同 " (一般) " 受 " (和室) " 信 "	150			
5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。			(平地震力と同時に働くものとする。 事編 8章2節8 2 4及び12節による。	モ 集合保安器箱 壁付アウトレット	" (天井高)×0.9	受信機床上~操作部	800~1,500			
マンかん かり立く日本市のは 正たいさいていること	<u>Unche</u>	確認試験 ・ 引張試験		話 ボックス(一般) パ (和室)	" 300 " 150	火 副 受 信 機 " 災 機 器 収 容 箱 床上~中心	800~1,500 800~1,500			
			本) ・ 施工後確認試験(本)を確認強度(kN)にて行う 種、第2種) あと施工アンカー施工士 ^{**} による			報 発 信 器 "知 べ ル "	800~1,500 (天井高)×0.9			
			※(社)日本建築あと施工アンカー協会認定資	ffi		消火栓表示灯 ″	(天井高) × 0.8			2017. 097
	•	事業年度	E			事 業 名	東小学校	防火戸改修工事	SCALE	NO.
上田市都市建設部建築課		R-	-04			図名	電気設備工事	特記仕様書	No Sc	ale A-03



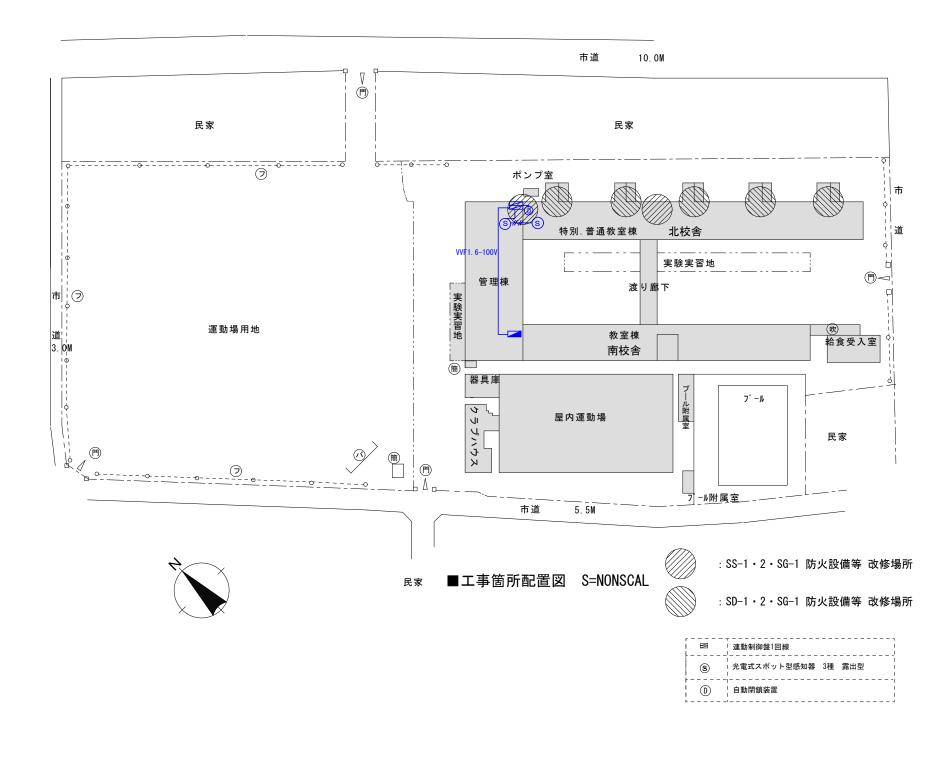
■付近見取り図

■改修工事概要

- ・北校舎防火戸改修 20箇所
- ・北校舎防火シャッター改修 2箇所
- ・電気設備改修 一式

■注意事項

- ・学校は工事期間中も運営しているため、工程、仮設計画、養生等は監督員学校関係者と協議の上行うこと。
- ・施工可能期間は原則として児童が不在になる期間(土日祝日等)を想定しているため、その他の期間で施工 する場合は、監督員学校関係者と協議による。
- ・施工困難、不具合等生じた場合、監督員と協議の上適正に施工を行うこと。
- ・工事範囲内は、清掃等日々の管理を徹底し、児童等に危険が及ばぬよう特に注意すること。
- ・その他記入のない事項でも当然必要と思われることは監督員と協議し、指示通り行うこと。



SCALE

